

第 6 回 宇城広域連合一般廃棄物整備工事に係る
焼却炉及び事業方式検討委員会

日 時	平成 30 年 2 月 8 日 (木) 開会 13 : 45 閉会 15 : 35	場 所	宇城広域連合 事務局 2 階会議室
出 席 者	委員 石橋 康弘、田北 成樹、田上 廣続、鳥居 修一 松本 秀幸、村山 真喜 (50 音順) 事務局 安田 誠、山口 伸治 技術支援 岩永 宏平、大和 裕治、堂園 貴大		
議事次第			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 【審議事項】事業方式の検討〔資料 1〕 (2) 【確認事項】次期ごみ処理施設の概要〔資料 2〕 (3) 【審議事項】答申書(案)の検討〔資料 3〕 (4) その他 4. 閉会 			

発 言 者

協 議 ・ 決 定 事 項

	<p>1. 開会 13 : 45 より開会</p> <p>2. 委員長挨拶 委員長より挨拶。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 【審議事項】 事業方式の検討 [資料1]</p> <p>事務局より事業方式の検討の説明を行う。</p> <p>(補足説明1) 宇城クリーンセンター技術職員 (12名) にアンケート調査を行いました結果、次期ごみ処理施設の運転に不安があると回答した職員は約半数でした。また、ごみ処理施設以外で働くことは可能であると回答した職員は12名でした。</p> <p>(補足説明2) 宇城クリーンセンター以外での働き場所・配置場所について検討した結果、職員全員の働き場所を確保できる状況となりました。</p> <p>【質疑】</p>
事務局	<p>・ 宇城クリーンセンター以外で働き場所を確保できたのであれば、事業方式の選択肢の中から「DBO+直営」方式は除外したほうが良いのではないかと。</p>
委員	<p>・ アンケート調査結果及び検討結果より、「DBO+直営」以外の事業方式を評価することとします。</p>
事務局	<p>・ 長期包括運営委託する事業者の選定には競争性や公開性が働くのか。</p>
委員	<p>・ 施設を建設したプラントメーカーのほか、運営管理を主体としているメーカー等が事業者選定に参入する場合には、競争性は担保されます。ただし、補修部品等は施設を建設したプラントメーカーから購入する必要があるため、その点については競争性が働きません。</p>
事務局	<p style="text-align: center;"> [意見交換を行いながら、事業方式について評価項目 や各事業方式の特徴を総合的に審議して評価を行った </p>
事務局	<p>【結論】</p> <p>・ 事業方式は、DBO方式に決定します。</p>
事務局	<p>(2) 【確認事項】 [資料2]</p> <p>事務局より処理システムの総合評価について説明を行う。</p> <p>【質疑】</p>
委員	<p>・ 排ガス基準値で他都市の計画条件の塩化水素 (50ppm) が、次期ごみ処理施設の自主基準値 (100ppm) より低いのはなぜか。</p>
事務局	<p>・ 周辺環境や地元協定等の要因で計画条件を低くしていると考えられます。次期ごみ処理施設の自主基準値は宇城クリーンセンターの計画条件や排ガス測定の実績を基に設定しています。</p>

発 言 者

協 議 ・ 決 定 事 項

事務局

(3) 【確認事項】【資料3】

事務局より答申書（案）の検討について説明を行う。

【質疑】

- ・特になし

【結論】

- ・報告書については、今回の検討委員会で審議した事項について修正を行い、その確認は委員長に一任することとします。

(4) その他

- ・特になし

4. 閉会

15 : 35 に閉会

以上